

# 家庭教育だより No.14 はぐくみ

親子のコミュニケーションなどによって育まれる家族のきずなや家庭のルールづくり、子どもたちの基本的な生活習慣づくりを考えませんか。

問合せ 教育行政課 ☎ 32-8028 FAX 34-4379

## 感染症に負けない！～子どもの「衛生意識」を育てる～

依然として脅威が収まることのない新型コロナウイルス。学校が再開した今でも、厳重な注意が必要です。日常には感染のリスクが多く潜んでいますが、見えないウイルスに対して、子どもがリスクを実感しにくいのが現状です。今回ははぐくみでは、子どもの衛生意識を育てるためのキーワードと実践のポイントを紹介します。



### 子どもの衛生意識を育てるためのキーワード「えいせい」

#### えがおで

コミュニケーションの基本は笑顔！こんなときだからこそ笑顔で伝えることを心掛けましょう。



#### いえでのルールをつくる

家族が一緒に取り組める感染予防のルールを作り、なぜルールが必要なのか、子どもが考えるきっかけにしましょう。

#### せつめいする

子どもの「なぜ？」に分かりやすく答えることで、子どもにルールを守る「意識」が芽生えます。



#### いたわる

ルールを守ることが当然と思わず、子どもがルールを守れたらたくさん誉めましょう。



### 「えいせい」実践のポイント

#### 【家庭でのルールの例】

- 日中は1時間に1回、自分の部屋を換気する
  - ペットボトルなど口をつけたものは、早く処分する
  - 部屋のドアノブを消毒する
  - 外出したらどこに行ったかを報告する
- できたときの成果が分かると励みになります。スタンプカードを活用するなど、簡単に取り組める工夫をして実践してみましょう。



#### 【子どもにわかりやすく伝える】

- 先に結論を話す  
説明が長いと子どもは飽きてしまいます。先に結論を話し、子どもの興味を引きましょう。
- 一緒に体験する  
体験は、子どもに伝える一番の近道です。手洗いの仕方や家で注意することを親子で体験しながら確認しましょう。



### 家庭に贈る 今回のプラスワン

#### 教育長からのメッセージ

##### 子どもたちの声が響き渡る学校であり続けるために

6月1日、3カ月ぶりに子どもたちの笑顔や歓声が学校に戻ってきました。「友達と過ごすって楽しいね」「一人で勉強するより、みんなと勉強した方がやる気が出るよ」、そんな声がどの学校でも聞かれたようです。やっぱり、学校の主役は子どもたちです。

保護者の皆さまには、この長い臨時休業の間、ご家庭でたくさんのご支援をいただき、誠にありがとうございました。また、学校再開に当たっても、日々のマスクやハンカチの準備をいただき、心から感謝申し上げます。教育委員会では、子どもたちが安心して学校生活を送ることができるよう、小学校での少人数体制を整えたり、中学校にフェイスシールドを配布したりするなど、できる限りの感染防止に尽力しているところです。12の小・中学校をしっかりと支え、学習面はもちろん、子どもの心のケアにも取り組んで参りますので、ご家庭でもお子さまの様子に気を配っていただき、心配なことがありましたら、ぜひ教育委員会や学校にご相談ください。

子どもたちの元気な声が響き渡る学校であり続けるために、家庭と学校、そして地域が丸となって、「オールみよし」で乗り越えていきましょう。

みよし市教育委員会教育長 いませよしえ 今瀬良江